

「主体的な学びの土台を作る 田川アクティブ・ラーニング」

平成28年1月29日

福岡県立田川高等学校

今日の内容

1. **実践発表**
2. **発表内容の説明（アウトプット）**
3. **質疑応答**

今日の内容

1. 実践発表

2. 発表内容の説明（アウトプット）

3. 質疑応答

今日の「内容目標」

1. 本校のA Lに関する取組について
しっかり **「理解する」**。
2. 分科会の内容を全体会のグループ
学習の場で **「説明できる」** ように
する。
3. 今日学んだことを、自校の先生方に
還元し、自校に合ったA Lを
「実践する」。

今日の「態度目標」

1. **しゃべる**
2. **傾聴する**
3. 分からないこと、聞き漏らしたことがあったら、**助けてもらう**
4. ペアで**協力する**
5. **質問する**

取組を始める上で大切にしたい考え方

どの時代でも、生徒、学校に応じた
「授業改善は不可欠」である。

これからの授業改善は、
「ALの必要性・明確な目的」を
踏まえた、
「意識的な」ものであること。

ALの必要性

社会的要請（知識基盤社会）

＜求められる人材の変化＞

変化の激しい社会の中、
学び続ける **「主体的学習者」**

仲間に貢献したり、他者と協力したり
して物事に取り組める **「協働性」** を備え
た人物

ALの必要性

現実問題として・・・

「高大接続改革」への対応

「高等学校教育改革」への対応

高等学校の授業改善は不可欠に！！

本校の研究テーマ

「主体的な学びの土台を作る 田川アクティブ・ラーニング」

高等教育へのスムーズな接続が可能となるように、主体的に考え、行動できる生徒を育てる。

最終的には、**クリティカルシンキング・
ロジカルライティングへ！！**

A Lを導入するにあたって

「今までの自分の授業に、**A Lの要素を加えていく**」所からスタート。

無理は禁物！

A L を導入するにあたって

<忘れてはいけないこと>

講義・演習を中心とした「**従来型授業の基本スキル**」は絶対に必要

「**従来型講義・演習** + **AL** =
田川アクティブ・ラーニング」

ALをどのようなものにすれば・・・

ラーニングピラミッド

学習内容を半年後にどれくらい
記憶しているか

講義

5%

他人に教える

90%

生徒の授業アンケートの声

「**授業中**に

先生や**友達**に**質問**しづらいです」

田川高校の「A Lの柱」

- 1 学び合い（教える・教わる）
- 2 質の高いアウトプット
（言わせる・論理的に説明させる）
 - ➔ クリティカルシンキング・
ロジカルライティングへ
- 3 協働（チームに貢献・協力・感謝）

田川高校のA Lの柱

「生徒の深い学びの実現」の為に

従来の講義・演習型授業に

「A Lという仕掛け」を加える

A Lの活動形態

- 1 **ペア学習** (2人～3人)
- 2 **グループ学習** (4人～6人)
- 3 **クラス全体**

グループで学習する際には

「ホワイトボード」が効果的

なことも

AIを始めるときに必要なこと

必ず「目的」（何のために）
をしっかりと伝えること。

これが肝！

いつ、どんな時にA Lをやるか

常時ではない。講義・演習との併用

その授業で、

定着させたい（間違えやすい）所

「学び合い」が必要な場面

教わる人は、しっかり理解。

教える人は、定着度UP。

ペア・グループ・全体で学習する際の注意

まずは、
「個人」でじっくり考えさせる。

その後、
「ペア」 or 「グループ」 or 「全体」
で学習させる。

ペア・グループ・全体で学習する際の注意

＜まず「個人」である理由＞

自分の考え、自分の答えをもって
初めてチームに貢献できる。

**プラスのストレスが加わり、
その後の活動が爆発的に盛り上がる！**

ペア・グループ・全体で学習する際の注意

＜ペア・グループ・全体
で学習する価値＞

他者の意見を取り入れることで
自分の考えが充実・発展していく

**自分以外の対象が、教師ではなく
友達であることで、定着が良くなる！**

A L型授業を支える環境づくり

生徒にとって、

「安心安全の場」 であること

例えば、

- **適度な授業規律**
- **教師の言葉遣いや振る舞い**
- **必要に応じて座席の配慮**

A L 型授業を支える環境づくり

2つの目標

「**内容目標**」と「**態度目標**」

A L においては特に、

「**態度目標**」が**重要**となる。

今日の「態度目標」

1. **しゃべる**
2. **傾聴する**
3. 分からないこと、聞き漏らしたことがあったら、**助けてもらう**
4. ペアで**協力する**
5. **質問する**

A L型授業を支える環境づくり

実際の生徒に対する授業では、

1. **仲間に助けてもらおう**
2. **仲間に貢献する**
3. **仲間と協力する**

席を立ってもよし！

声を出してよし！！

教室を歩き回ってよし！！！！

A L型授業を支える環境づくり

教科の通常授業で「態度目標」に向かわせることによって、それ自体が立派な「**キャリア学習**」になる。

A L型授業を支える環境づくり

指示は

「分かりやすく」、**「具体的」**に

「一時一事」

「制限時間」を設定し、緊張感を

A L 型授業を支える環境づくり

主役は

「協働する生徒たち」

教師が教えすぎない

授業の終わりに、**「まとめ」**を
きっちりやり過ぎない

A L 型授業を支える環境づくり

有意義な **A L の時間** を出来るだけ
確保 するための **工夫** が必要

そのために、
生徒の **「作業」時間の短縮** を

「学習プリント」 の活用

I C T 機器 (PowerPoint) の活用

AL型授業を支える環境づくり

「振り返り（リフレクション）」
は重要！！

今日の授業で、

分かったことは何ですか？

分からなかったことは何ですか？

次の学びへの促進剤！

本校のA L授業動画集

1 数学

2 英語

3 理科（生物）

※動画は省略させていただきます。

成果と課題

<成果>

居眠りなし

授業が楽しい

学習に対する姿勢
がよくなった

核となる生徒
が増加

あっという間に
授業が終わる

説明上手な
生徒が増加

休み時間に
学び合っている

外部模試の結果上昇

ハイレベル模試への希望人数増加

成果と課題

<課題>

宿題（課題）の量と質

全職員による効果的なA Lの実施
（更なる職員研修・重点教科の指定等）

I C Tに関する環境整備
（プロジェクト・ホワイトボード
・無線L A N・タブレット等）

今日の内容

1. 実践発表

2. 発表内容の説明（アウトプット）

3. 質疑応答

アウトプットの演習

**本日の講義内容を
ペアの方に「説明」**して頂きます。

スライド資料を見ながらでOKです。

**簡潔に、ご自分の言葉で説明を
されてください。**

アウトプットの演習

Aさん ➡ Bさん
(スライド **6~19**)

Bさん ➡ Aさん
(スライド **20~34**)

それぞれ **3分ずつ**で簡潔に説明

アウトプットの演習

まず、5秒で

どちらがAさんでどちらがBさんが

決めてください。

アウトプットの演習

まずは、各自説明の準備

制限時間 3分

アウトプットの演習

Aさん → Bさん
(スライド6～19)

制限時間 3分

アウトプットの演習

Bさん → Aさん
(スライド20～34)

制限時間 3分

今日の内容

1. 実践発表

2. 発表内容の説明（アウトプット）

3. 質疑応答

質問の時間

肩の力を抜かれてください。

どうぞ、ペアの方や周りの先生方と
どんどんお話をされてください。

どんな事でも、どうぞお気軽に。

質問があるときは挙手をお願いします。

おわりに

今回発表した取組は、あくまでも
「本校の現状を踏まえたもの」。

「自校に適したA Lは、自校の先生方で作っていくべき」もの。

おわりに

著名人の本・先進校の取組の記事を読む

**先進的な取組をしている先生方との
つながりをもつ（学校視察は有効！）**

研修会に参加する

職員室で先生方と授業の話をする

**お疲れさまでした。
ご清聴ありがとうございました。**